

2017年（平成29年）8月17日

加盟団体代表者 各位

公益財団法人全日本ボウリング協会
競技委員長 不破 伸二
(公 印 省 略)

J B C主催大会における補欠登録選手の取り扱いについて

拝啓、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会の諸事業に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年6月6日付文書にて、当協会主催大会における補欠登録選手の取り扱いを変更いたしました。今年度より下記の通り追加で変更を行うことといたしました。

つきましては、当協会主催大会の主管運営に際し、ご留意いただきたいと存じます。また、賞状への氏名記載等、参加選手にも関係する内容ですので、大会参加の監督・選手皆様にもあらかじめご伝達ください。

ご不明な点などあれば、J B C事務局（担当：鈴木）までご連絡ください。

末筆になりますが、貴連盟益々のご発展を祈念申し上げます。

敬具

記

■2016年（平成28年）6月6日付文書による変更内容

ボール登録をしていない補欠登録選手は、チームの登録を削除し、大会成績表にも氏名を掲載せず、チームが入賞した場合も賞状等に氏名を表記しない。

■2017年度（平成29年度）からの追加変更内容

①補欠選手の大会当日確認について

従来、補欠選手がボール登録を完了したかどうかの確認を主管連盟が行っていましたが、今後は、補欠選手から申し出ていただく形に変更となります。なお、ボール登録を完了していたとしても、この申し出がない場合には「ボール登録を行っていないもの」とみなされます。

またその場で、チームが入賞した場合の賞状への氏名記載の希望の有無の確認を行います。

<補欠登録選手皆様へ>

ボール登録完了後、使用ボール登録証の控えを持参の上、競技受付等（大会ごとにあらかじめ場所を指定）へ競技開始前まで（※1）に申し出てください。また、自身が登録されているチームが入賞した場合の賞状への氏名記載の希望の有無を伝えてください。

（※1）補欠登録選手の場合の「競技開始前まで」の解釈は2016年（平成28年）6月6日付文書の通りです。

<主管連盟皆様へ>

補欠登録可能な大会では、補欠登録選手の申し出を受け付ける場（あらかじめ監督会議資料に明示）を設けてください。なお、その申し出を受け付ける際には、該当選手の使用ボール登録証の控えをもって確認完了としてください。また、その場でその補欠登録選手が入賞した場合の賞状への氏名記載の希望の有無を確認してください。

※申し出がない場合：ボール登録を行っていないものとみなしますので、チームの登録から氏名を削除し、大会成績表にも賞状にも氏名を記載しないでください。

※申し出がある場合：チームの登録にそのまま氏名を残し、大会成績表に氏名を掲載してください。賞状への氏名記載については、選手の希望に応じてください。

②大会当日に申し出があった選手の大会成績表への氏名記載について

補欠登録可能な複数種目の当協会主催大会（東・西日本選手権大会、日本スポーツマスターズ、全国都道府県対抗選手権大会、全日本選手権大会）では、補欠登録選手が投球しなかった場合、その種目の成績表には氏名を記載しないこととします。しかし、ボール登録完了の申し出があった補欠登録選手の氏名は大会成績表に記載することとしていますので、個人総合（オールイベント）の成績には氏名を記載いたします。なお、上記5大会以外は全て従来通りとします。

（例）全日本選手権大会の場合

（イ）2人チーム戦で補欠登録選手の投球なし

→2人チーム戦の成績表には補欠登録選手の氏名は記載しない

（ロ）3人チーム戦で補欠登録選手の投球あり

→3人チーム戦の成績表には補欠登録選手の氏名を記載する

（補欠登録選手が3人チームのAチームで投球した場合、Aチームに補欠登録選手の氏名あり。Bチームにはなし）

（ハ）6人チーム戦で補欠登録選手の投球なし

→6人チーム戦の成績表には補欠登録選手の氏名は記載しない

（ニ）補欠登録選手の投球の有無に関わらず、個人総合（オールイベント）の成績表に補欠登録選手の氏名を記載する

<主管連盟皆様へ>

今後、上記 5 大会の個人総合（オールイベント）成績表を作成する際、A チーム登録選手の場合には氏名横に「A」と表記する等、成績表内で「選手（※2）がどのチーム（※3）の登録選手なのか」がわかるようにしてください。なお、1 チームのみの参加で A・B 等の区分けがない場合、氏名横には「A」と表記してください。

（※2）ここでいう「選手」とは、正選手・補欠登録選手の区別なく、大会参加の全選手のことです。

（※3）ここでいう「チーム」とは、以下の通りです。

- | | |
|------------------|--------------|
| （イ）東・西日本選手権大会 | → 4 人チーム戦 |
| （ロ）日本スポーツマスターズ | → 4 人チーム戦 |
| （ハ）全国都道府県対抗選手権大会 | → 混合 4 人チーム戦 |
| （ニ）全日本選手権大会 | → 6 人チーム戦 |

③賞状への補欠登録選手の氏名記載について

賞状への氏名記載の希望の有無については大会当日の申し出時に確認を行うが、補欠登録可能な複数種目の当協会主催大会（東・西日本選手権大会、日本スポーツマスターズ、全国都道府県対抗選手権大会、全日本選手権大会）において、（イ）補欠登録選手が投球せず、（ロ）賞状への氏名記載を希望し、且つ（ハ）その補欠登録選手のチームが複数入賞（※4）した場合には、上位チームの賞状にのみ氏名を記載することとします。

（※4）複数入賞の例としては、全国都道府県対抗選手権大会において混合 2 人チーム戦で「〇〇県 A」「〇〇県 B」が同時に入賞した場合など

以上